

広報 妻籠宿



公益財団法人妻籠を愛する会

令和7年8月20日発行

No.155



(高札場と水車)

写真の水車小屋は大亀石さんのものだそうですが、大亀石さんの斜向かいのお宅は「くるまや」と呼ばれていたそうですから、やはり水車を所有してお米を精米する仕事をしていたのでしょうか。今はその面影もありませんが、屋号というのは職業を表すものや住まう人に由来するもの等いろいろあるようです。

そういった夏休みの自由研究も面白かったかな、と思うこの頃です。

小笠原 美雪

林茂さんへの想い

理事長 藤原 義 則

林さん、長い間お世話になりありがとうございました。人生100年時代もう少し長生きしてほしいかったです。

昭和40年代初頭の集落保存の構想から、明治百年記念事業、その中での愛する会の発足、妻籠保存財団、財団法人妻籠を愛する会、公益財団法人妻籠を愛する会と続く展開の中で、いつもその中心にいて、あるべき姿を描き引っ張ってきた言動に感謝します。住民憲章の草案作りでも、「児童憲章」を真似して箇条書きにしたと話してくれました。「おう、あれはなあ、難しいと誰も読まん、簡単にしたんだ」と。

世の中が高度経済成長のスクラップ＆ビルドの真っ只中にある時も景観を保全することの重要性を力説してリードしてくれました。

妻籠の保存の原点は国道256号の拡幅、バイパス化にあり、長野県明治百年記念事業、寺下の電柱移転、関電の送電鉄塔保護色塗装、生活道路の開設と今日の妻籠の姿があるのはたゆまない問題点の改善にありました。地域の人々に対して自分たち妻籠の景観はこうあるべきと常に訴えてくれました。昭和60年代統制委員会でよく話してまとめてくれたことを思い出します。「観光が前に出ると景観がこわされる。看板がいい例だ。これは大事なことだ」とも教えてくれました。

多くの人々が日本の景観保全に目が届かないとき、鎌倉鶴岡八幡宮後背山林の宅造計画反対運動、北海道斜里町知床100㎡運動、日本ナショナル・トラスト運動の先駆和歌山天神崎の保存等に参加して自ら示してくれました。

愛する会の顧問になってからも文化文政風俗絵巻之行列の瓦版が出来上がると事務所に来て仕分け作業をしてくれました。

奥さんの三重子さんも茂さんの活動に、歩調を合わせ婦人消防隊の役員、婦人会食堂の運営、行列の花嫁衣裳の管理と二人三脚で汗をかき尽力していただきました。

どうぞお二人で、勝野剛光さん、松川弘さん、そして小林俊彦さんとお茶（お神酒）でも飲みながらあの頃の苦労した話で楽しんでください。

ありがとうございました。

※林茂さんには（公財）妻籠を愛する会の顧問を長年務めていただきました。6月24日逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。



平成20年（2008）11月22日
竹富島・妻籠交流24周年記念
竹富島の皆さんが来宿
ふれあい館にて歓迎会
23日には行列に参加

【木曽風景街道推進協議会総会】

藤原理事長が会長を務める「木曽風景街道推進協議会」の今年度の総会が6月18日に上松町で開催されました。愛会からは3名参加しました。

総会、昼食をとりながらの交流会と続き、最後に6月3日に上松で行われた「御杣始祭（みそまはじめさい）」についての講話がありました。



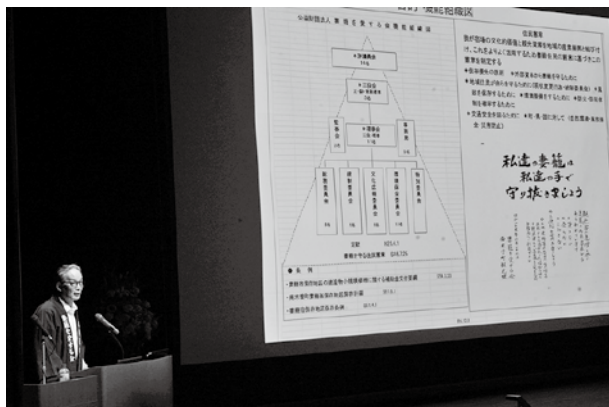
伝建制度50周年記念シンポジウム 〈愛会活動報告〉

理事長 藤原 義 則

本年は伝統的建造物群保存地区制度が創設されてから50年を迎えることを記念して、シンポジウムが7月4日京都市「立命館大学朱雀キャンパス大講義室」にて開催され、最初に選定された7地区（5市町村）のそれぞれの住民団体50年の取り組みが過去・現在・将来について紹介されました。

愛会では藤原が昭和40年初頭から明治百年記念事業、そして現在の活動状況、将来の課題についてパワーポイントを使用して報告しました。持ち時間に制限があり言葉足らずの所もありましたが内容については、好評でした。

他の団体は 仙北市角館、白川村萩町、京都市産寧坂・祇園新橋、萩市堀内地区・平安古地区でした。文化庁、伝建地区の行政関係者、住民関係者等400名程が集いました。当町では、町長、教育委員会等4名が参加しました。



〈取組発表の様子〉



〈文化庁より感謝状をいただきました〉



一石柵立場茶屋周辺環境整備

今年の夏も猛暑の中、多くのハイカーが馬籠峠を歩いています。一石柵立場茶屋で休憩される旅人が心地よく過ごせるように、茶屋周辺の草刈及び囲炉裏で使う薪の準備、隣接する小屋の整備などに汗をどっぴりとかきながら励みました。

6月19日は酷暑でしたが、午前中草刈、午後は薪運びと大車輪で働きました。7月10日には隣の納屋を整理し、農機具等を運び入れました。この日はさらに炎暑でした。



〈真夏の環境整備作業〉

環境保全委員会では毎年7月をメドに外来植物駆除を中心に環境整備作業を行っています。今年も7月28日炎暑の中、環境保全委員と妻籠観光協会の若者14名が草刈と宿場内の雑木枝払いを行いました。本当にありがとうございました。



〈尾又急斜面の雑木枝払い〉

豊田市 大岡 誠

6月の第1週目の日曜日は「南木曽町・妻籠健康マラソンの日」として、仲間4人で30年前から参加しています。

中山道妻籠宿と新緑の木曽路で最高のコースを77歳の私が参加するのは、タイムを競うより健康を競う大会だからです。

昨年、健康大賞の年齢が75歳から80歳に変更され、健康大賞を目標としている私は、あと3回は参加したいけど…。

今年も最初から最後まで最後尾近くをヨタヨタして走っていましたが、十分に満足できる大会でした。

妻籠宿では観光客やお店の人が仕事の手を休め、木曽路では農家の皆さんに手を振って声援していただきました。橋の柵が危ないからと事故防止の声をかける人、大型トラックの荷台を利用した表彰式など、手作りが溢れた大会でした。

大会後は、妻籠宿の石畳のお蕎麦屋さんにはランナーで満員、お風呂は岩風呂でゆったりとできました。家族にお酒やそば饅頭などのお土産を持って帰りました。

南木曽町・妻籠健康マラソンは、南木曽町の温かさが溢れた大会でした。



〈スタートダッシュ〉



〈寺下に行く〉



〈仲良し四人組〉



〈恋野の坂が待っている〉



〈ちょっと厳しい高札前〉

実行委員 栗原 まいこ

6月1日に開催された妻籠マラソン大会にて、僭越ながら司会進行の大役を務めさせて頂きました。慣れないお役目でお聴き苦しい点もあり申し訳なく思いつつも、長年勤めていらした山崎副実行委員長様や皆様様のアドバイスのお陰で、なんとか閉会まで務める事が出来ました。有難うございます。

心配していた天気も、朝にはお天道様が顔を出し800名近くのランナーと応援する方々の溢れる笑顔を照らしてくれました。

マラソン大会に来てくださる方々の為、沿道整備に草刈りを数日前から行い、進行や駐車場、バスの手配等抜かりなく丁寧に、熱いハートで進行してきた沢山の実行委員スタッフの皆様の心意気には感謝と尊敬の念でいっぱいです。

そんな熱い想いが通じてか、参加された多くの方から「素晴らしい大会だったよ」「また来年も絶対来ます」など有難い言葉を頂く事が出来ました。

南木曾に移住して5年、何よりもあたたかい人柄の南木曾町での、おもてなしの一員に加えて頂き、有難うございました。

来年も無事に開催出来ます事を、心より祈っております。



〈まず、準備体操から〉



〈仮装大賞勢ぞろい〉



〈元気よく選手宣誓!〉



〈よく頑張りました!〉



〈爽やかに司会を進める栗原さん〉



〈神楽組も開会式を盛り上げました〉

愛知県 溝口 武志

私は愛知県の稲沢市から参加しました。2年前に仕事を辞めて農業をしております。農業は自然を感じながら仕事ができますが、人との関わりが少なくなるというデメリットがあります。その解消とささやかな社会貢献を兼ねてボランティアに参加しました。

妻籠でのボランティアは3年目になります。一昨年は、私たち一般のボランティアだけでなく、奥ジャパンさんからも多く参加され、地域の方々と一緒に侍ロードといわれる旧中山道の除草作業や案内板の整備などを行いました。昨年は、奥ジャパンさんの外国人社員さんや横浜から参加していた2名の女子高校生、地域の方々と一緒に竹藪の整備を行いました。

今年も奥ジャパンさんや岐阜から参加していた大学生をはじめ、東京や神奈川や名古屋からの参加者、地域の方々と一緒に竹藪の整備を行いました。毎回、高校生や大学生など若い方が意欲的にボランティアに取り組んでいるのを見て、大変頼もしく感じました。また、地域の方々の妻籠に対する温かい愛情を強く感じました。夜には懇親会が開催され、おいしい料理をいただきながら楽しい時を過ごしました。年齢や職業、住む場所の違う方々と様々な会話ができてとても刺激になりました。

妻籠から馬籠に至る旧中山道は侍ロードと呼ばれ、世界的に認知されるようになったことは本当に喜ばしいことです。今後も地域の方々だけでなくボランティアの方と手を携えて整備・保全をしていくことが大切だと思います。



【妻籠城址環境整備作業】

(株)名工土木の皆さんによる妻籠城址の整備作業が7月16・17日の二日間にわたって行われました。「名工土木安全の日」に合わせて毎年ボランティアで行われています。今年は猛暑と土砂降りの中、草刈と登山道の水切り作業をしていただきました。

山頂からの眺望は外国人ハイカーにも人気のスポットです。おかげで安心して登山できます。ありがとうございました。



宿 場 暦

- 5月 5日：奥ジャパンワークキャンプ
(～7日・理事長)
- 12日：三役会、理事会
16日：妻籠宿案内人の会総会・学習会
19日：豊かな環境づくり木曽地域会議総会
及び学習会(合庁・理事長)
20日：統制委員会、木曽地域観光ガイド代表
者会議(案内人の会：2名)、
広報154号発行
22日：日本ナショナルトラスト協会理事会
(理事長)
23日：國學院大學観光まちづくり学部：妻籠
についての講演(横浜市・理事長)
27日：木曽風景街道推進協議会役員会、
妻籠地区地域振興協議会役員会(理事長)
29日：評議員会
- 6月 1日：第43回南木曽町・妻籠健康マラソン
大会
3日：令和7年度地域づくりネットワーク木
曽支部総会(合庁・理事長)
5日：空き家対策特別委員会、三役会
6日：観協五月人形片付け(常務)
10日：日本ナショナルトラスト協会総会
(理事長)、妻籠地区地域振興協議会総会
18日：木曽風景街道推進協議会総会(上松町)
19日：一石柘草刈り作業(5名)
20日：統制委員会
24日：林茂氏(顧問)逝去
25日：JR東海リニア中央新幹線発生土置き場
候補地説明会(交流センター)
26日：妻籠宿案内人の会役員会
27日：広報部会
28日：令和7年度第1回観光地点パラメータ
調査
- 7月 4日：伝統的建造物群保存地区制度創設50周
年記念シンポジウム(京都市・理事長)
7日：令和7年度木曽地域文化遺産活性化協議
会総会(木曽町・理事長)
8日：木曽地域リニア活用推進協議会観光・
交流部会(木曽町・理事長)
10日：一石柘立場茶屋作業(6名)
16日：南木曽町リニア中央新幹線対策協議会
(理事長・常務)
- 16・17日：名工土木城山整備作業
22日：統制委員会
23日：和智埜神社祭礼(～24日)
26日：令和7年度第2回観光地点パラメータ
調査

景観保持のため、宿場内での路上駐車は
やめましょう!

- 28日：環境整備作業(環境保全委員会・妻籠
観協：14名参加)、広報部会
29日：妻籠宿連絡調整会議(理事長・常務)、
妻籠宿案内人の会役員会
30日：三役会

統制委員会審議事項

- 5月20日
・ボーリング調査及び水位、歪観測
(上町・光徳寺急傾斜地：県) 1件
・仮設備設置(期間変更)(尾又：関電) 1件
・群状択伐(妻籠地区：関電) 5件
・家屋解体(渡島：個人) 1件
・引込線新設(上町生活道路沿：中電) 1件
・陸棟積み直し工事(恋野：個人) 1件
- 6月20日
・仮設事務所、道具小屋設置
(尾又軽便道：名工土木) 1件
・店舗外観修繕(下町：個人) 1件
・和智埜神社末社屋根修繕(和智埜神社) 1件
・群状択伐(妻籠地区：関電) 4件
- 7月22日
・物置小屋除去(中町：個人) 1件
・道路法面の立木伐採及び枝払い
(第1・第2駐車場下：建設業協会) 1件
・防護管撤去(田島橋：中電) 1件
・変圧器揚替、引込線撤去・新設工事
(橋場：中電) 1件
・史跡中山道 旧路面発掘調査(久保洞：教委) 1件
・令和7年度予防治山事業第3号工事(下り谷：県)
1件
・配電設備の保安伐採
(上在郷・大妻籠・下り谷：中電) 1件
・群状択伐(妻籠地区内：関電) 6件
・河川等流量計測器の設置
(細野山・下り谷：リニア関連) 1件
・高圧線張替・高圧線支持金具取替工事及び防護管
撤去工事(橋場軽便道：中電) 1件

【統制委員会からのお知らせ】

重伝建地区内で家屋の修繕等行うときには、事
前に統制委員会への届出が必要となります。申請
用紙は愛する会にあります。

また、補助金が出る場合もありますので、町教
育委員会又は愛する会事務局にご相談ください。

発行：公益財団法人妻籠を愛する会
〒399-5302 長野県木曽郡南木曽町吾妻2159-2
TEL:0264-57-3513(FAX兼用)

下町 磯村琢弥 + 妻籠愛友会

今回は愛友会の仲間と一緒に、細野山のテレビ塔のさらに上にある NHK のアンテナを目指して歩きました。このアンテナは三留野からは見えますが、妻籠からだと生活道路より上の場所へ行かないと見えません。アンテナまでのルートですが、馬籠峠から賤母山方面に歩いて、妻籠から見えている山々の尾根沿いを歩くことにしました。馬籠峠の少し下に林道入口があり、林道はすぐに尾根に近づくので、そこから尾根沿いを歩きます。



《林道は崩れていました》

まずは高土幾山を目指します。最初のうちは長野県と岐阜県の境を示す杭やリボンがあるので迷わず順調に進めたのですが、途中で目印を見失い仕方なく地図アプリを見て県境を確認して高土幾山(1037m)を通過します。



《高土幾山山頂》

妻籠からは尾根が見えているのに、山からは木が邪魔で妻籠は見えません。しばらく歩くと県境に土塁が現れます。この土塁沿いに歩いて行くと、細野山テレビ塔上辺りで土塁は左に直角に曲がります。さらに土塁に沿って歩きます。アップダウンを繰り返して、目的地の NHK のアンテナに到着です。ここで昼食をとって記念撮影をしました。景色がとても良く話が盛り上がりました。途中から現れた土塁は、賤母山近くまで続いています。山口村誌によると、

この土塁はどうやら草刈りの際に村同士で生じる争いが多いために作ったそうです。今なら隣の区が、少しこっちの草刈り作業分を刈ってあっても怒るようなことはないですが、江戸時代には馬の餌や堆肥に使うため喧嘩になったようです。土塁の始まる場所は馬籠村、山口村、妻籠村の三村の境目で、石休峰という場所らしいです。そこから馬籠自然植物園方面に、もう一本道が延びているような絵が資料にあります。そういえば四角形の石組の柵があって松の木が生えている所があったのですが、土塁が分かれていたか確認しませんでした。またいつか見に行こうと思います。



《土塁が出現します》



《一部石積もあります》



《NHK アンテナ横にて》

次回はもう少し近場を探索してきます。